

九大病院だより

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。

“PET がんドック”開始しました

～先進予防医療センター～

先進予防医療センターでは今年1月から世界最新鋭のPET-CT装置を導入して“PET がんドック”を開始しました。“PET がんドック”は、従来の“標準がんドック”に“PET-CT 検査”を付け加えたもので、がんの発見率をより向上させたドックです。検査所要時間は男性約5時間、女性約6時間で日帰り検査が可能です。

★PET 検査とは？

がん細胞は正常細胞よりも盛んに増殖を繰り返すため、エネルギー源となるブドウ糖を大量に取り込みます。PET 検査はこの性質を利用し、ブドウ糖によく似た構造を持つ検査薬（FDG）に目印（ポジトロン核種）を付けて静脈注射し、その集まり具合を画像化して診断します。すなわち PET 検査は細胞そのものの代謝活動を画像として見るわけです。PET 検査は、検査薬を注射する時の痛み以外は苦痛が無く、全身を一度に撮影するため予期せぬ場所の小さながんも発見できる、副作用もほとんどない安全な検査です。

これまでの PET 検査ではがんを発見できても、正確な場所や形状を知ることが困難でした。この弱点を克服したものが“PET-CT 検査”です。がん細胞の性質を評価する PET 検査と、病変の位置や大きさを評価する CT 検査を同時に行い、それぞれの画像を正確に重ね合わせることで、診断精度が飛躍的に向上しました。

★PET-CT 検査は万能ではありません。

PET-CT 検査は、がんの検出に非常に優れた検査ではありますが完全ではありません。がんの中でも FDG の集まりが悪いもの（PET 陰性がん）があります。この「PET 陰性がん」を発見するためには、エコーや CT、MRI、胃カメラ検査などが必要です。先進予防医療センターで PET-CT 検査だけのがんドックを行わないのはそのためです。

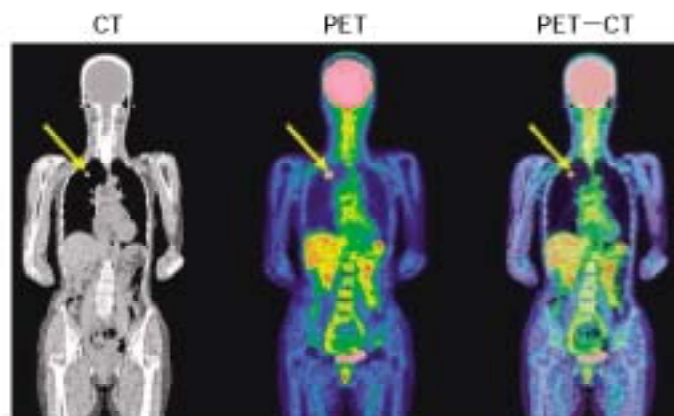
“がん”は早期に発見すれば決して怖い病気ではなく、切らずに治すことができる場合も少なくありません。あなたも“PET がんドック”を受けてみませんか。

お問い合わせ：先進予防医療センター

TEL：092-642-5746 FAX：092-642-5738

料金 男性184,000円（税込）、女性196,000円（税込）

*料金の詳細等については、上記お問い合わせ先までお尋ね下さい。



左から CT、PET、PET-CT 画像です。CT で右肺上部に小さな腫瘍(→)が認められます。PET でも同部に FDG の集まり(→)が見られ、がんが疑われます。PET-CT で両者が合致することを確認でき(→)、肺がんであると診断できます。



春といえば

春といえば、別れと出会い。卒業、入学。送別会、歓迎会それにお花見。私は人と触れ合うこのような会が大好きです。日頃ゆっくり時間が取れないので、医局員や学生たちと絆を深める貴重な場と考えています。若い人たちと本音で語り合うと元気が出ます。こんな会には「ごちそう」が付き物で、一段と場を盛り上げますね。しかし減量を宣言している私にとって、この歓送迎会の時期は困りもの。家に帰ると、体重計の前ではいつもハラハラしています。

今月の九大病院だよりにも取り上げられている「メタボリックシンドローム」。日頃はそれについて講演する側の私も、何を隠そう、予防のため毎日

循環器内科長 砂川 賢二
冠動脈疾患治療部長

MESSAGE from Kenji Sunagawa



必死に戦っている一人なのです。カロリーを厳しく制限された弁当を妻に持たされ、秘書さんが出してくれる美味しいおやつに誘惑に負けまいと努力し、通勤電車内では座らない、エレベーターを使わず階段を、歩くときはなるべく速く跳ぶように(人目がなときは走る!)、ジムでは1000kcal消費をめざす、などなど。患者さんの中にも同胞が少なからずおられると思います。今月は、歓迎会やお花見を予定している方も多いのではないのでしょうか。人に出会える、語り合える、元気が出る。体重計が気になりつつも、私も楽しみにしています。

コラム

九州大学病院の理念・基本方針

理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します

基本方針

- ◆地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ◆プライマリ・ケア診療の充実
- ◆全人的医療が可能な医療人の養成
- ◆専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ◆国際化の推進

光学医療診療部のご紹介

「光学医療診療部」という言葉は聞いたことがない方が多いと思います。当診療部では内視鏡室の運営を行っています。九大病院の内視鏡検査件数は年々増加しており、昨年は1万件を突破しました。多くの診療科が内視鏡を使った診断・治療を行っています。各科ごとにそれぞれ独立して行われている内視鏡検査を統合し、効率的で安全かつ快適な検査・治療を行える診療体制を整えています。多数の内視鏡専門医、消化器内視鏡技師、看護師、臨床工学技士の下に、最先端の検査・治療を行っています。使用される内視鏡はいつ使用され、いつ洗浄・消毒されたのかすべて記録に残すシステムを導入するなど感染対策にも力を入れています。



内視鏡室受付

平成18年4月より北病棟1階に新内視鏡室が開設され、透視検査が可能な部屋も含め8室の検査室があります。それぞれが独立した部屋となっており、患者さんのプライバシーに十分配慮した診療を行っています。7台の内視鏡検査装置がハイビジョン対応で、より鮮明な画像を得ることができるようになりました。最新の機器を設置し、最近脚光を浴びている内視鏡的粘膜下層剥離術や小腸内視鏡検査にも力を入れています。海外（特にアジア）との交流も活発で、高速インターネット回線を使ったカンファレンスを日常的に行っています。また日本の内視鏡診断・治療技術は世界の中でも高いと評判で、当診療部にはアジア各国から多数の見学者が訪れています。

部長：田中雅夫
文責：板場壮一

メタボリックシンドロームとその予防

生活習慣の変化により、過食、運動不足から肥満、軽症高血圧、高脂血症、耐糖能異常（軽度の血糖値の上昇）などが重なると高率に狭心症、心筋梗塞、脳梗塞などの動脈硬化性疾患を起こしやすいことが判明し、メタボリックシンドロームと呼ばれるようになりました。動脈硬化性の病気は悪玉コレステロール（LDL-コレステロール）が高い重症な高脂血症だけでも生じますが、それがなくても、メタボリックシンドロームでは個々のリスク（危険因子：肥満、高血圧など）はそれほど重症ではないのに、各危険因子が重なり合って、動脈硬化を起こします。では、メタボリックシンドロームは軽症高血圧、高脂血症、耐糖能異常が偶然重なってリスクの足し算で高いリスクになっているのでしょうか。そうではなくて、メタボリックシンドロームは主に内臓脂肪の蓄積が原因となって引き起こされる独立した病気と考えられるようになりました。内臓脂肪が増えると脂肪細胞から悪玉ホルモンが分泌され、善玉ホルモンの分泌が減ります。この悪玉ホルモンが高血圧、高脂血症、耐糖能異常を起こし動脈硬化を引き起こします（図1）。糖尿病に対して血糖降下剤、高血圧に対して降圧剤、高脂血症に対して脂質低下剤というように個別に治療対策をとることに加えて、主原因である生活習慣の乱れによる内臓脂肪型肥満の是正により、高血圧、高脂血症、耐糖能異常を是正することが重要になります。今年になり、メタボリックシンドロームの診断基準が策定されましたが、内臓脂肪型肥満を反映する腹囲の増加が必須条件となっています（表1）。内臓脂肪型肥満（100cm以上）は正確にはおへその高さのCT検査で判定します（図2）。腹囲が診断基準以内でも内臓脂肪沈着が高度のことがあります。メタボリックシンドロームは生活習慣を整えることにより自分で予防できる疾患です。

図1.メタボリックシンドロームの発症機構



表1.メタボリックシンドロームの診断基準

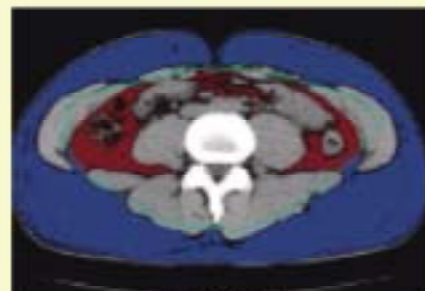
- ウエスト周囲径
男性≧85cm
女性≧90cm
- 上記に加えて以下の2項目以上
 - 中性脂肪≧150mg/dL
かつ/または
HDLコレステロール<40mg/dL
 - 収縮期血圧≧130mmHg
かつ/または
拡張期血圧≧85mmHg
 - 空腹時血糖≧110mg/dL

図2



内臓脂肪型肥満

皮下脂肪を青、内臓脂肪を赤で表示。この内臓脂肪型の例は面積157cm²



皮下脂肪型

(内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科 高柳 涼一)



7対1看護配置で

4月から看護師が増えました

看護部長 中畑 高子

急性期入院医療に対応した看護配置の基準が、昨年度の診療報酬で改定されました。このことから昨年来マスコミ等で取り上げられている「看護師争奪戦」が始まったわけです。当院のような大学病院は、従前国家公務員の総定員法により定員の縛りがあったため民間病院のように臨機応変に人員の対応ができず、ますます複雑化、多様化、重症化した入院患者さんをそれ程多くない看護師で対応してまいりました。

しかし、高度先進医療を安全にかつ安心して提供するためには当院こそ看護師が多く必要と募集を行った結果、この4月多くの看護師を採用することができ、7対1看護配置の基準を満たすことが



看護部採用者就任式で式辞を述べる水田病院長

できるようになりました。これは1日の平均入院患者数に対し、24時間平均で患者7人に対し看護師1人を配置することを言い、「平均して」であるので1日3交代（日勤、深夜勤務、準夜勤務）の中で勤務する看護師を傾斜配置することも可能であることを言います。具体的には日勤や夜勤で勤務する看護師の数が増えますので、今まで以上に手厚い看護や安全で安心な看護や専門的な看護ができるよう努力を重ねていきたいと思っています。この春、多くの新人看護師が就職してきました。写真のようなバッジをつけてそれぞれの部署で「一人前の看護師」を目指して毎日頑張っています。どうぞ今後とも温かく厳しく応援していただきますようよろしくお願いいたします。



新人看護師バッジ

診療科の紹介

今回は、全身管理歯科をご紹介します。

①診療科の診療内容・専門分野

当科の患者さんは、歯科治療を行う上で何らかの問題となる病気を持っている方が中心です。たとえば、循環器系、脳血管系、糖尿病、肝臓、腎臓、血液の病気などで、九大病院をはじめ近隣の病院で入院中または外来通院中の患者さんです。手術や内科的な治療前後に歯科治療を必要としている方が来院されたら、医科主治医の先生と連携を取り、歯科治療前、治療中、治療後についての計画を立てます。治療室のメンバーは歯科医と看護師で構成され、治療中の患者さんの様子には常に気を配っています。特に高血圧、狭心症、不整脈など循環器系の病気がある患者さんには、必ず心電図モニターを用い、9台の治療台は、いつでも酸素吸入ができるように設計されています。

②患者さんとのエピソード

長年にわたり病気と付き合い生活されている患者さんは、私たち歯科スタッフにとっては、病気についていろいろなことを教えていただける先生でもあります。たとえば糖尿病の患者さんで、歯科治療中の低血糖発作の予防について知識はあっても、その兆候は一人ひとり違うので、「私の場合はね、…」という経験談からたくさんの事を学びます。

③今後の目標

良好な口腔衛生や口腔機能の維持が、患者さんの全身状態に対してよい影響を与えるという主旨の報告が各方面からなされています。

さまざまな病気を抱えた患者さんが来院される当科では、歯科治療や予防、指導を通して、可能な限り患者さんの健康に役立つ診療科を目指しています。



心電図モニター、炭酸ガスレーザー等を備えた診療室

九州大学病院 別府先進医療センターのご紹介

検査室

別府先進医療センターは別府市のほぼ中央部に位置する中規模病院です。我々の検査室は臨床検査と呼ばれる業務を担当しており、人員は医師1名と技術職7名です。業務内容は、やや専門用語となりますが、臨床化学、血液学、免疫学、外来一般、生理学、細菌学、病理学、輸血学検査であり、加えて血液製剤の管理と病理解剖も行っていきます。大きな病院であれば検査部、輸血部、および病理部などという専門の部署がカバーすべき領域をこれだけの人員で遂行していることに誇りを感じています。ただ、組織が小さいことの悩みもあります。誰かが休暇を取った場合にその人の業務をカバーするのが大変なのです。一人が休暇を取りほかの一人が発熱による予定外の休暇を取った場合など、非常に大変になります。一方、我々の検査室は医局と病棟の間に位置しているため、多くのドクターに気軽に訪れてもらえます。それぞれの入院患者さんの検査結果の移り変わりをしながら主治医の先生に病状を尋ねたりすることもあります。我々は心電図検査などを除いては直接患者さんと接することはほとんどありませんが、患者さんの回復を願うのはほかの医療従事者と同じです。当センターは、別府湾を見下ろし、右に高崎山、左に国東半島を望む風光明媚な場所にありますので、近くにお越しの際には是非おいでください。



研究棟屋上から 春の別府湾を望む

お知らせ

◎九大病院建物内は全面禁煙となっています。皆様のご協力をお願いします。
禁煙のご相談は総合診療部禁煙外来（TEL：092-642-5910）まで

外来診療日一覧

お尋ねは、下記の診療科等に直接お電話願います。午前中は大変込み合い、電話がかかりにくい場合があります。予めご了承下さい。（市外局番は「092」です）

診療科名(病棟番号)	初診日	再診日	診療科名(病棟番号)	初診日	再診日	診療科名(病棟番号)	初診日	再診日
内科(初診) (642-5300)			先端理工学診療部 (642-5993)	月~金	月~金	志高 4 (642-6471)	月~金	月~金
内科(再診) (642-5302)			第一外科 (642-5453)	火・木・金	月・水・金	4 口腔総合診療科 (642-6490)	月~金	月~金
血液・腫瘍内科			第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金	4 歯周病科 (642-6425)	月~金	月~金
免疫・膠原病・ 感染症内科			整形外科 (642-5504)	月・水・金	月	4 歯内治療科 (642-6430)	月~金	月~金
消化管内科			脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金	4 咬合補綴科 (642-6435)	月~金	月~金
腎・高血圧・ 脳血管内科			心臓外科 (642-5565)	月・水・金	月・水・金	4 義歯補綴科 (642-6440)	月~金	月~金
内分泌代謝・ 糖尿病内科	月~金	月~金	小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金	5 全身管理室 (642-6483)	月~金	月~金
肝臓・脾臓・ 胆道内科			皮膚科 (642-5596)	月・水・金	月・水・金	5 小児歯科 (642-6465)	月~金	月~金
総合診療部			泌尿器科 (642-5615)	月~金	月~金	5 矯正歯科 (642-6460)	月~金	月~金
先端分子・ 細胞治療科			精神科神経科 (642-5640)	月~金	月~金	5 顎顔面口腔外科 (642-6445)	月~金	月~金
臨床遺伝医療部 (642-5421)	月~金	月~金	眼科 (642-5660)	月・水・金	月~金	5 顎顔面口腔外科 (642-6450)	月~金	月~金
心療内科 (642-5335)	月・水	月・水・金	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科 (642-5681)	月・水・金	月・水・金	5 歯科麻酔科 (642-6479)	月~金	月~金
神経内科 (642-5349)	月・水・金	月・水・金	放射線科 (642-5705)	月・水・金	月~金			
循環器内科 (642-5371)	月~水	月・水	麻酔科蘇生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金			
呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・水・金						
産婦人科 (642-5409)								
産科 (642-5900)	火・木	月~金						
北小児科 (642-5430)	月~金	月~金						

●休診日
土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12/29~1/3)

●受付時間(窓口)
8:30~11:00
自動再未受付機
8:15~11:00

●外来玄関開閉時間
7:00~18:00

歯科部門

●受付時間
初診 8:30~11:00
再診 8:30~15:00
(矯正歯科は、
8:30~16:00)

●予約がある場合はこの
限りではありません。

●再来の方でも、1年以
上受診されていない場
合には、初診の曜日・
時間となることがあり
ますので、あらかじめ
受診科「外来」にお確
かめ願います。

診療施設等	電話番号
救命救急センター	642-5871
	642-5872
時間外受付	642-5163
総合外来受付	642-5138
入院受付	642-5150
公費申請窓口	642-5153
地域医療連携センター	642-5165
支払い窓口	642-5169
リハビリ受付	642-5862
患者様相談室	642-5167
在宅療養支援室	642-5185

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！

※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

携帯電話からも九大病院ホームページの
診療案内・診療日案内・交通案内が閲覧できます。
アドレスは<http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>です。

※外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が
限られていますので出来るだけ公共の交通機関をご利用い
たいただきますようご協力願います。

(代表) 092-641-1151

〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号

ご意見・ご感想を電子メール (ibskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp)
または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております！